

# 子宮頸がん検診受診の方へ

子宮頸がん検診の採取器具は、**綿棒**または**フラシ**を用いています。

## 検診後のご注意

子宮の入り口付近の細胞を取るため、出血することがあります。

通常は数日でおさまりますが、痛みや出血がつづく場合は、お近くの婦人科をご受診ください。

## 検診結果について

当財団では、検診結果は厚生労働省が指導する「日本母性保護産婦人科医会の分類」と「ベセスダシステム」を用いて判定しています。

- ◆ 今回の検診にて判定可能な細胞量が不足していると、「要再検」となる場合があります。
  - \* 高齢の方
  - \* 出血、炎症が強い方
  - \* 年齢に関係なく個人的な特質がある方 など
- ◆ 結果が、「要再検」「要受診」「要精検」の場合は、婦人科専門医療機関をご受診ください。

連絡先



公益財団法人

渉外企画課

お問い合わせ時間

兵庫県健康財団

TEL (078) 793-9333

平日 8時45分～17時(土・日・祝日を除く)

# 子宮頸がん検診受診の方へ

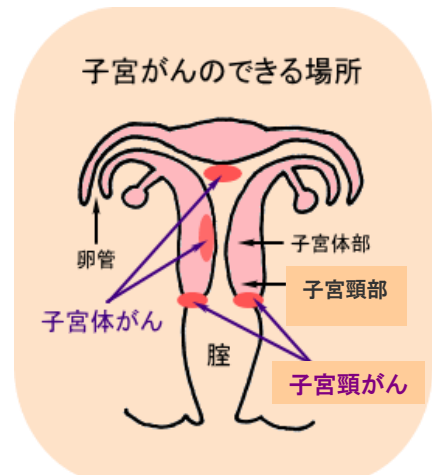
(出張検診用)

## 「子宮がん」とは

子宮がんには、頸部にできる「子宮頸がん」と、体部にできる「子宮体がん」の2種類があります。今回は、子宮頸がんの検診を行います。

### 「子宮頸がん」ってどんな症状？

- ・初期は無症状です
- ・出血； 月経時以外や、性交時の出血
- ・おりもの； 茶褐色、黒褐色のおりものが増える
- ・月経異常； 月経の量が増えたり長引いたりする



## 検診を受けられる前のご注意

- ・正しい検査結果を得るためにも、月経中の方及び2～3日前に婦人科診察を受けられた方は検診を避けたほうが良いでしょう。
- ・子宮全摘手術を受けられた方は、手術を受けられた医療機関での受診をお勧めします。
- ・妊娠しておられる方は、かかり付けの産婦人科での受診をお勧めします。

## 検診の内容

### ①問診

### ②検体採取・診察

診察時は、緊張するかもしれませんが、力をいれずに気持ちを楽にした状態で受けましょう。

- ◆ 診察台に上がっていただき検査をします。
- ◆ 視診をします。
- ◆ 膈内に膈鏡を挿入し、がんが発生しやすい子宮の入り口付近をブラシまたは綿棒でこすって細胞を採取します。その際、多少の痛みや出血することがあります。
- ◆ 診察時の所見は、症状によっては医師より説明する場合があります。

### ③結果通知

- ◆ 採取した細胞の検査結果と診察時の所見を併せて、後日お知らせします。

## 検診後のご注意

子宮の入り口付近の細胞を取るため、出血することがあります。

通常は数日でおさまりますが、痛みや出血がつづく場合は、お近くの婦人科をご受診ください。

## 検診結果について

当財団では、検診結果は厚生労働省が指導する「日本母性保護産婦人科医会の分類」と「ベセスダシステム」を用いて判定しています。

- ◆ 今回の検診にて判定可能な細胞量が不足していると、「要再検」となる場合があります。
  - \*高齢の方
  - \*出血、炎症が強い方
  - \*年齢に関係なく個人的な特質がある方 など
- ◆ 結果が、「要再検」「要受診」「要精検」の場合は、婦人科専門医療機関をご受診ください。

連絡先 公益財団法人 兵庫県健康財団  
渉外企画課 TEL (078) 793-9333  
お問い合わせ時間 平日 8時45分～17時(土・日・祝日を除く)